

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【公開番号】特開 2002-258526 (P2002-258526A)
 【公開日】平成 14 年 9 月 11 日 (2002.9.11)
 【出願番号】特願 2001-45339 (P2001-45339)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/083 (2006.01)
G 0 3 G 5/147 (2006.01)
G 0 3 G 9/08 (2006.01)
G 0 3 G 15/02 (2006.01)
G 0 3 G 9/087 (2006.01)
G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 0 1
 G 0 3 G 5/147
 G 0 3 G 5/147 5 0 3
 G 0 3 G 5/147 5 0 4
 G 0 3 G 9/08 3 6 5
 G 0 3 G 9/08 3 7 4
 G 0 3 G 9/08 3 7 5
 G 0 3 G 15/02 1 0 1
 G 0 3 G 9/08 3 2 1
 G 0 3 G 15/08 5 0 7 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 23 日 (2007.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】 前記離型剤の示差走査熱量分析による吸熱ピークは、4 0 ~ 1 1 0 であることを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の磁性トナー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】 前記離型剤の示差走査熱量分析による吸熱ピークは、4 5 ~ 9 0 であることを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の磁性トナー。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 4】 前記導電性微粉体の抵抗は $1 \times 10^8 \Omega \cdot \text{cm}$ 以下であることを特徴とする請求項 2 2 に記載の磁性トナー。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

(10) 前記離型剤の示差走査熱量分析による吸熱ピークは、40～110 であることを特徴とする(1)～(9)のいずれかの磁性トナー。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

(11) 前記離型剤の示差走査熱量分析による吸熱ピークは、45～90 であることを特徴とする(1)～(9)のいずれかの磁性トナー。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0206

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0206】

これらの離型剤成分の内でも、示差走査熱量分析による吸熱ピークが40～110 のものが好ましい。